

2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月10日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6036 URL <https://keepergiken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 賀来 聡介
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部次長 (氏名) 伊東 真志 (TEL) 0562-45-5258
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の業績 (2022年7月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	3,788	16.2	1,170	46.6	1,180	45.9	807	45.2
2022年6月期第1四半期	3,261	19.9	798	12.2	808	13.4	555	19.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	29.58	—
2022年6月期第1四半期	20.37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	11,197	8,001	71.5
2022年6月期	11,858	8,039	67.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 8,001百万円 2022年6月期 8,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2023年6月期	—				
2023年6月期(予想)		0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,713	19.3	3,050	31.7	3,050	30.9	2,124	31.8	77.89
通期	17,237	20.1	5,463	26.3	5,463	26.3	3,805	23.0	139.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年6月期1Q	28,280,840株	2022年6月期	28,280,840株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年6月期1Q	1,000,516株	2022年6月期	1,000,516株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年6月期1Q	27,280,324株	2022年6月期1Q	27,280,446株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)P5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2022年7月1日から2022年9月30日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、感染症対策、各種政策の効果もあり、経済社会活動の正常化が進んできました。

一方、足元では、アメリカを中心とした経済の急激な再稼働による極端な需要面の増加、ウクライナ情勢の長期化による供給面での制約や原材料価格の上昇により、景気の先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような環境の中、当社では、ユーザーに提供されるKeePerコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けての発展を目指したKeePerブランドのブランディングを確実にしていくために最も重要であると考えています。

当第1四半期累計期間(2022年7月1日から2022年9月30日)におきましては、売上高は37億88百万円(前年同期比16.2%増加)、営業利益は11億70百万円(同46.6%増加)、経常利益は11億80百万円(同45.9%増加)と大幅な増収増益となりました。なお、第1四半期累計期間としては、過去最高益ともなります。

キーパーLABO運営事業

キーパーLABO運営事業においては、当第1四半期も引き続き『カンブリア宮殿』の反響が続いており、店舗への電話やメールでのお問い合わせも多い状態が続きました。番組内で取り上げられた「クリスタルキーパー」はもちろんですが、「新車を買ってKeePerをしたい方」や「初めて、コーティングをかける方」など、新規ご来店の大きなキッカケとなりました。

そして、3年ぶりに行動制限のない夏を迎えたこともあり、車を使ってお出かけをされる方も多くなるなど、夏休み期間中は「洗車」や「車内清掃」などのご来店も多く、各店舗とも活況となりました。

しかし、今年の夏は異常なまでの暑さによってスタッフの体力を奪いました。そのため、各店舗の断熱対策強化をより一層実施したことに加え、熱中症対策としては、風通しのよい屋外作業時のマスク非着用など、スタッフを暑さから守り、お客様の満足に集中できる環境の整備に注力しました。

また、9月より「輸入車」及び「特別な運転操作を伴う車両」は、お客様に作業スペースへの移動をお願いする事といたしました。若いスタッフが多く、運転技術に自信を持っているスタッフが少ない事もあり、お客様の大切なお車を安全にキレイにさせていただく為にも、このようなお願いをするのと同時に、効率化とキャパシティーアップを目的とした作業場の整備を積極的に進めています。

コーティングの施工台数を見てみると、EXキーパーは、施工台数が2,306台で前年比26.6%増、売上で3億71百万円と実績の上乗せとなりました。それでも、このEXキーパーは、新車への施工が多いのですが、新車製造の遅れによって納車も大幅に遅れており、予約が先延ばしになっている店舗も多くありました。ECOダイヤモンドキーパーが加わったダイヤモンドキーパーシリーズは、施工台数は10,650台の前年比17.7%増加、売上8億4百万円と堅調です。また、クリスタルキーパーは13.2%増加となるなど、全てのKeePerコーティングにおいて大きな伸びを示しております。そして、メンテナンス類においても25.3%となり、今の時勢に合わせたかのように、リピートのメンテナンス施工が多くなっております。

さらに、ボディーへのコーティングだけではなく、細部のパーツごとの美観・汚れにくさを求めるお客様が増え、窓ガラス、ホイール、未塗装樹脂、レンズ、ドアの内側等のコーティングもご希望されるお客様が増えたことにより、「プレミアム仕様」でのご注文が多くなってきました。

加えて、9月1日から販売を開始した、『フレッシュキーパー』においては1,170台の施工があるなど、女性ドライバーのご来店自体が少ないキーパーLABOにおいても、女性ドライバーや軽自動車ユーザーからの施工依頼があるなど、評判も上々となっております。

洗車需要も向上し全体的に来店台数も増加しました。総来店台数も13.7%増加し、コーティングの平均単価も向上したため、全体での平均単価は16,135円の12.8%増と大幅に向上しております。

今後の新店開発の予定

今期の新規出店は12店舗を予定しており、現在まで計画通りに進捗しております。更に、今後の店舗拡大に向け、店舗部の再構築をしたことにより有望な新店候補地も出てきており、大きな手応えを掴んでおります。

2022年11月2日オープン	埼玉県新座市	新座店
2022年11月26日オープン予定	福岡県北九州市	小倉南店
2023年2月オープン予定	三重県四日市市	四日市南店(仮称)
2023年3月オープン予定	東京都世田谷区	用賀店(仮称)
2023年3月オープン予定	埼玉県さいたま市	大宮東店(仮称)
2023年4月オープン予定	秋田県秋田市	秋田店(仮称)
2023年4月オープン予定	群馬県伊勢崎市	伊勢崎店(仮称)
2023年4月オープン予定	東京都福生市	福生店(仮称)
2023年5月オープン予定	埼玉県上尾市	上尾店(仮称)
2023年6月オープン予定	栃木県宇都宮市	宇都宮店(仮称)

既存店の改装とブランディング変更

需要拡大よってのブース増設やゲストルームの配置換えなどが行われております。また、全店にて作業効率を向上させるために、お客様の車を動かさなくてもよい仕様への改装工事も、急ピッチにて進めております。

千葉県	佐倉店	ブース2台増設
愛知県	甚目寺店	ブース2台増設、4台分の洗って仕上げる作業場に改修
愛知県	春日井店	ブース5台増設、3台分の洗って仕上げる作業場を増設
愛知県	安城店	4台分の洗って仕上げる作業場に改修
愛知県	豊橋店	ブース2台増設

今後の予定

埼玉県	蕨店	ブース3台増設、2台分の洗って仕上げる作業場を増設
兵庫県	宝塚店	ブース4台増設、4台分の洗って仕上げる作業場に改修
神奈川県	相模原淵野辺店	ブース3台増設、3台分の洗って仕上げる作業場に改修
愛知県	大須店	待合室の配置・設備の改修
埼玉県	大宮店	ブース2台増設、3台分の洗って仕上げる作業場を増設
愛知県	東郷店	ブース3台増設、3台分の洗って仕上げる作業場に改修
大阪府	鶴見店	ブース5台増設、3台分の洗って仕上げる作業場に改修

その結果、キーパーLABO運営事業の売上高は22億3百万円(前年同期比27.9%増加)、セグメント利益は5億82百万円(同58.1%増加)と大幅な増収増益となりました。

キーパー製品等関連事業

当事業における最も大きなシェアを占めている石油販売業界は、原油価格高騰により店頭小売価格が高騰しているものの、外出制限もなくなり車での外出も多くなり、お客様のご来店が回復をしております。

しかし、7月～8月にかけて新型コロナウイルス感染拡大の第7波がピークに達したことにより、技術者の人員不足が出てしまい、コーティングの需要があるものの施工が出来ない店舗が多く出てしまいました。

9月になると、3年ぶりの開催で大きな盛り上がりを見せている『第7回2022年キーパー技術コンテスト』の『県チャンピオン決定戦』が行われ、毎戦大接戦の熱い戦いが繰り広げられ、48名の県チャンピオンが誕生しました。

そして、コンテストの終了後には、毎回『新商品:フレッシュキーパーの見学・説明会』を行いました。フレッシュキーパーの施工を実際に行い、パンフレット、チラシ、ポスター、施工証明書をお渡しし、翌日からお客様にご案内や施工が出来るようになりました。この効果は大きく、10月から販売開始した「フレッシュキーパー」は、1ヵ月間で10,000台以上の施工がされ、好調なスタートを切ることが出来ました。

新車マーケットにおいては、引き続き、新型コロナウイルスによる世界的な半導体不足の影響に加え、ウクライナ情勢も加わり、新車製造が大幅に遅れ、納車も遅れており、コーティング施工が先延ばしとなっております。

しかし、そんな中でも、スバル純正の『SUBARU WダイヤモンドKeePer』は、発売から2年経ったこともあり着実に定着し、じわじわと付帯率が向上しており、直近の実績では27%まで上昇してきました。

さらに、SUBARUとKeePerのダブルネームにて、2022年9月29日より、既販車・中古車向けボディコーティングとして「SUBARU ダイヤモンドKeePer」を発売開始しました。この製品は新車ではなく、既販車・中古車用ボディコーティングとして展開を行い、今後需要拡大をする既販車市場でのコーティングサービスとなっております。

また、トヨタ販売社向けの発売を開始した、KeePerボディーコートは着実に導入が進んでおりますが、新車納車のペースが停滞気味の影響で実際のコーティング施工台数はまだ大きくは伸びておりません。

現在の全国のトヨタ関連の販売会社253社への導入の進捗状況は、

- ・10月31日現在、コンタクトが取れた販社が247社。
- ・内、導入に向けて、「性能テスト」など実車を使つての導入の検討に入った販社が182社。
- ・内、導入を決定いただき、実際の導入スケジュールが立った販社が89社。
- ・内、すでに販売が始まっていて、製品の納入が始まっている販社が65社。

今後の活動として、トヨタ販売店で車を買われる方が「KeePerコーティングを施工したい」と希望される方も多いと、販売店の営業の方より聞くことが、かなり多くなってきました。その為、キーパーLABOスタッフが直接、販売店へ出向きコーティング施工をする「出張施工(デリバリー)」の案内の全国販売店舗への営業活動も積極的にスタートさせます。

さらに、車以外のサービスでは、スマートフォン用のコーティングやモーターサイクル業界に続いて、自転車業界にも進出しました。今後はさらに陶器メーカー、家電販売業界、船舶、看板業界にも進出し始めており、KeePer製品の、販路の拡大への路線を着実に進めております。

海外事業においては、新型コロナウイルス感染拡大によって活動がストップしておりましたが、規制緩和によって、すでにキーパープロショップが展開している、香港やタイ、台湾などの海外での活動が出来るようになりました。また、それ以外の国でもKeePer導入の活動が始まっており、中長期をみた海外での営業活動を開始させることが出来ました。

その結果、キーパー製品等関連事業の売上高は15億84百万円(前年同期比3.0%増加)、セグメント利益は5億87百万円(同36.8%増加)となりました。この事業の売上が3.0%増加と微増となっておりますが、これは手洗い洗車機「快洗Jr5」製造の部品供給が一時的にストップして(現在は解消)、この洗車機の製造が止まって、100台以上のバックオーダー状態となっていたことが影響しております。

しかし、高単価製品であるが低利益率の商品である洗車機の出荷が止まったことにより売上高には比較的大きく影響して、当第1四半期累計期間の売上高は微増にとどまりましたが、洗車機は粗利益の幅が小さいため、売上総利益は14.1%増加となっており、大きな影響を与えるまでに至っておりません。

なお、11月よりバックオーダー分の洗車機の出荷が開始されており、12月中にバックオーダー状態は解消する予定です。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ6億61百万円減少し、111億97百万円となりました。これは主として、現金及び預金が6億44百万円減少、売掛金が1億9百万円減少、有形固定資産が78百万円増加、商品が64百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ6億22百万円減少し、31億95百万円となりました。これは主として、流動負債が6億20百万円減少、固定負債が2百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ38百万円減少し、80億1百万円となりました。これは主として、利益剰余金が四半期純利益により8億7百万円増加した一方で、配当により8億45百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,721,463	2,076,571
受取手形	168,918	161,767
売掛金	1,157,351	1,047,942
商品	706,006	770,421
貯蔵品	68,489	62,378
前払費用	189,880	133,246
その他	17,324	12,494
貸倒引当金	△265	△121
流動資産合計	5,029,168	4,264,702
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,127,116	3,144,550
構築物（純額）	201,894	200,151
機械及び装置（純額）	66,082	62,998
車両運搬具（純額）	22,292	29,899
工具、器具及び備品（純額）	130,607	145,918
土地	2,016,836	2,016,836
建設仮勘定	63,609	106,617
有形固定資産合計	5,628,439	5,706,971
無形固定資産		
ソフトウェア	46,495	42,916
その他	61,048	78,792
無形固定資産合計	107,543	121,708
投資その他の資産		
投資有価証券	19,388	19,729
関係会社株式	1,000	1,000
長期前払費用	36,733	33,747
敷金及び保証金	364,218	372,260
建設協力金	291,760	293,685
保険積立金	11,460	11,460
繰延税金資産	368,995	372,031
その他	23	23
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	1,093,566	1,103,924
固定資産合計	6,829,550	6,932,605
資産合計	11,858,718	11,197,307

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	359,263	352,705
1年内返済予定の長期借入金	379,936	297,103
未払金	422,871	356,139
未払法人税等	923,770	403,624
未払費用	312,764	205,973
賞与引当金	47,169	186,922
契約負債	163,526	184,905
その他	155,884	157,500
流動負債合計	2,765,187	2,144,873
固定負債		
長期借入金	160,000	148,000
退職給付引当金	370,913	382,986
役員退職慰労引当金	256,683	259,827
資産除去債務	262,025	256,213
その他	4,043	4,043
固定負債合計	1,053,665	1,051,070
負債合計	3,818,853	3,195,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金	1,007,224	1,007,224
利益剰余金	7,871,812	7,833,136
自己株式	△2,188,728	△2,188,728
株主資本合計	8,037,865	7,999,189
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,999	2,174
評価・換算差額等合計	1,999	2,174
純資産合計	8,039,865	8,001,363
負債純資産合計	11,858,718	11,197,307

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,261,485	3,788,742
売上原価	666,445	674,819
売上総利益	2,595,039	3,113,922
販売費及び一般管理費	1,796,727	1,943,391
営業利益	798,312	1,170,531
営業外収益		
受取利息	360	391
為替差益	7,037	7,861
受取手数料	2,739	1,618
その他	1,155	302
営業外収益合計	11,293	10,173
営業外費用		
支払利息	925	539
その他	-	3
営業外費用合計	925	542
経常利益	808,680	1,180,161
特別利益		
固定資産売却益	12	9
特別利益合計	12	9
特別損失		
固定資産除売却損	907	1,328
特別損失合計	907	1,328
税引前四半期純利益	807,785	1,178,842
法人税、住民税及び事業税	276,022	374,940
法人税等調整額	△23,924	△3,111
法人税等合計	252,097	371,828
四半期純利益	555,688	807,013

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	83,650	—	83,650	—	83,650
仙台営業所	187,347	—	187,347	—	187,347
東京営業所	308,568	—	308,568	—	308,568
横浜営業所	123,666	—	123,666	—	123,666
名古屋営業所	342,286	—	342,286	—	342,286
大阪営業所	163,203	—	163,203	—	163,203
広島営業所	148,148	—	148,148	—	148,148
福岡営業所	181,285	—	181,285	—	181,285
東日本	—	912,980	912,980	—	912,980
西日本	—	810,346	810,346	—	810,346
顧客との契約から生 じる収益	1,538,157	1,723,327	3,261,485	—	3,261,485
外部顧客への売上高	1,538,157	1,723,327	3,261,485	—	3,261,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	192,322	—	192,322	△192,322	—
計	1,730,479	1,723,327	3,453,807	△192,322	3,261,485
セグメント利益	429,692	368,620	798,312	—	798,312

(注) セグメント間の内部売上高192,322千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

当第1四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	85,235	—	85,235	—	85,235
仙台営業所	184,388	—	184,388	—	184,388
東京営業所	309,398	—	309,398	—	309,398
横浜営業所	142,489	—	142,489	—	142,489
名古屋営業所	377,901	—	377,901	—	377,901
大阪営業所	170,261	—	170,261	—	170,261
広島営業所	134,450	—	134,450	—	134,450
福岡営業所	180,862	—	180,862	—	180,862
東日本	—	1,123,794	1,123,794	—	1,123,794
西日本	—	1,079,958	1,079,958	—	1,079,958
顧客との契約から生 じる収益	1,584,988	2,203,753	3,788,742	—	3,788,742
外部顧客への売上高	1,584,988	2,203,753	3,788,742	—	3,788,742
セグメント間の内部 売上高又は振替高	296,921	—	296,921	△296,921	—
計	1,881,910	2,203,753	4,085,663	△296,921	3,788,742
セグメント利益	587,897	582,633	1,170,531	—	1,170,531

(注) セグメント間の内部売上高296,921千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(子会社の増資)

当社は、2022年11月10日開催の取締役会にて、KeePerロジスティクス株式会社が実施する増資を引き受けることを決議いたしました。これにより、当該会社は当社の特定子会社に該当することとなります。

1. 異動の理由

当社は、当社の子会社であるKeePerロジスティクス株式会社が、愛知県大府市に土地、建物及びその他を取得することを目的として、当該会社に増資を行います。

2. 対象会社の概要

(1) 会社名	KeePerロジスティクス株式会社	
(2) 所在地	愛知県大府市吉川町四丁目17番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 賀来 聡介	
(4) 事業内容	倉庫業	
(5) 増資前の資本金	1百万円	
(6) 設立年月	2021年1月4日	
(7) 大株主及び持株比率	KeePer技研株式会社 100%	
(8) 当社との関係	資本関係	当社の完全子会社です。
	人的関係	当社より取締役を派遣しております。
	取引関係	該当事項はありません。

3. 本増資の概要

(1) 増資額	699百万円 (内、2分の1を資本金に組み入れ予定)
(2) 増資後の資本金	350百万円
(3) 払込期日	2022年11月30日 (予定)
(4) 増資後の出資比率	KeePer技研株式会社 100%

4. その他 (連結決算への移行)

本増資により当該会社の重要性が増すことから、2023年6月期第2四半期より、従来の単体決算から連結決算への移行を予定しております。